



## 臨床研究に関する情報の公開

作成日:2022/02/02

|                |  |
|----------------|--|
| 研究課題名          | 再発卵巣癌患者の長期寛解生存に関する多施設後方視的検討  |
| 研究の対象          | 1997年1月～2019年12月に当院で卵巣癌、卵管癌、腹膜癌の治療を受けられた方  |
| 研究目的・方法        | 本研究は後向きコホート研究である。本研究では上皮性卵巣癌再発後に長期寛解生存している症例対象に、臨床病理学的特徴を調べ、組織検体の遺伝子バリエーション解析を行うことで、再発後に長期寛解生存している症例の特徴を明らかにします。上皮性卵巣癌（卵管癌、原発性腹膜癌含む）症例の治療内容を集積するまた、再発に対する治療が終了後、1年以上その次の再発を認めなければ、そのあとは長期に生存できる可能性が高くなるため、そのような症例のホルマリン固定パラフィン包埋（FFPE）検体を集積し、遺伝子パネル検査を行い長期生存に寄与しうる遺伝子バリエーションの探索を行います。<br>研究期間：許可日～5年間  |
| 研究に用いる試料・情報の種類 | 診療情報（治療内容、予後情報）<br>手術標本（ホルマリン固定パラフィン包埋組織検体）  |
| 外部への試料・情報の提供   | データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、各施設の研究責任者が保管・管理します。   |
| 研究組織           | 近畿大学医学部産科婦人科学教室 教授 松村謙臣<br>公立豊岡病院組合立 豊岡病院 周産期医療センター長兼産婦人科部長 住友理浩<br>公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院 産婦人科 副部長 関山健太郎<br>京都大学医学部婦人科学産科学教室 准教授 濱西潤三<br>静岡県立総合病院 産婦人科 堀川直城<br>滋賀県立総合病院 婦人科 部長 村上隆介<br>大津赤十字病院 産婦人科 多賀敦子<br>国立病院機構京都医療センター 産婦人科 江本郁子<br>国立病院機構大阪医療センター 産婦人科 松本久宣<br>大阪赤十字病院 産婦人科 芦原隆仁<br>神戸市立医療センター中央市民病院 産婦人科 川田悦子<br>天理よろづ相談所病院 産婦人科 富田裕之<br>日本赤十字社和歌山医療センター 産婦人科 山西優紀夫 |
| お問い合わせ先        | 本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。<br>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。<br>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。<br><br>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：<br>〒530-8480 大阪市北区扇町2-4-20<br>公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院<br>電話：06-6312-1221、FAX：06-6312-8867               |



公財)田附興風会医学研究所北野病院 産婦人科

産婦人科 副部長 関山健太郎 (研究責任者)

研究代表者:

近畿大学医学部産科婦人科学教室 教授 松村謙臣